

## 「Banquet」

太陽工業(株) 梶尾 孝之

「Banquet」は横浜議最終日の9月22日(金)18:30~20:30に横浜大棧橋ホールにて開催された。

事前に入場券を購入して参加した参加者は312名であった。

8<sup>th</sup> 横浜実行委員会では「Banquet」は日本らしい趣向おこないつつも華美にならないように企画することのほか、参加していただいた方々同士が様々な話題で歓談していただけるような場を提供したいと計画した。

会議が開催されたパシフィコ横浜から、専用のシャトルバスに乗り込んでいただき、約15分で会場に到着。会場は大棧橋岸壁に隣接したホールで正面のガラス張りの窓からは横浜港を行き交う船が見えて横浜会議のイメージを盛り上げる風景が広がる場所であった。10名で円卓を囲んでいただけるようなテーブル配置とし、参加者同士で気ままに歓談していただけるよう、座席の指定は行なわなかった。

清川事務局長の司会のもと Advisory Committee メンバーによる鏡割りと龍岡実行委員長のご発声による乾杯で幕が開けた。Advisory Committee メンバーの方々にはハッピーを着用していただいた。日本酒、ハッピー、と香り良い?“梶“の組み合わせが良かったのか、来日のお土産にと準備した品はすぐに無くなった。また、会場全体の広さやテーブルのサイズなども良かったようで、参加者の方々にはくつろいだ雰囲気





のなかで歓談していただけたのではないかと感じた。

歓談の合間に沖縄：琉球国祭り太鼓と和太鼓の2つのアトラクションを盛り込んだ。琉球国祭り太鼓は琉球獅子もステージに登場、太鼓の伴奏にあわせて場内を乱舞し、最後には出席者も合わせての競演となり非常に盛り上がった。また和太鼓は大小の音色の異なる太鼓の音色とリズムの共演を参加者一同が堪能できた。これらの2つのアトラクションは琉球国祭り太鼓：岡三リビック／和太鼓：太陽工業の社員が趣味で所属する団体をお願いして催したもので、まさに手作りの国際会議にふさわしい趣向であった。

「Banquet」の最後は和太鼓にあわせて三三七拍子で締めくくられた。

当初から企画していた、わずらわしさがなく、華美にもならず、ゆっくり歓談／情報交換など参加者の親交を暖め合うことができる空間を「Banquet」で提供すること。と実行委員会という方針に限りなく近づいた空間を創造することができたように思われた。

「Banquet」終了後、ホテルへのシャトルバスに乗車しないで横浜の夜を楽しみにされた方々も多かったようである。

